

さかせよう! 「あいさつの木」



(スマプロ委員の言葉から)

1学期から「あいさつ運動」を行い、少しずつあいさつの声が大きくなりました。

展示ホールの「あいさつの木」もどんどん葉が茂っています。今度は、全校生で「あいさつをリレー」し、あいさつの木に花をさかせたいと思います。

みんなで「あいさつリレー」

10月14日(水)6年1組から始まって

11月26日(水)1年4組まで続きます。



そんな児童会でも「あいさつ」をがんばっているみなさんと、今日は、

もう一度「あいさつ」

について考えてみたい！



地域の方から、こんな声を聞いています。

- 前よりはあいさつがしっかりできる子が多くなってきた。でも、まだまだ、できない子どもがけっこういるのは残念だ。



- 班長さんがしっかりあいさつできる班は、班員さんもしっかりあいさつしてくれるんだよなあ。⇒ どうですか？

*この声は

◇うれしい声？

◇残念な声？

あいさつは、
人と人との「心をつなぐ」大切な方法



あいさつには、
「いつもありがとうございます」
のような、「感謝の思い」もふくまれ
ています。

地域の方々や、見守り隊の人たちは、私たちの
「安全を守るためにがんばってくれている人たち」
そして、皆さんの「おうえんだん」です。

その人たちの

あいさつをがんばってほしい

という声が聞かれるということは、



皆さんの「感謝の思い」が伝わっていない

とっても**残念**（ざんねん）なことです。

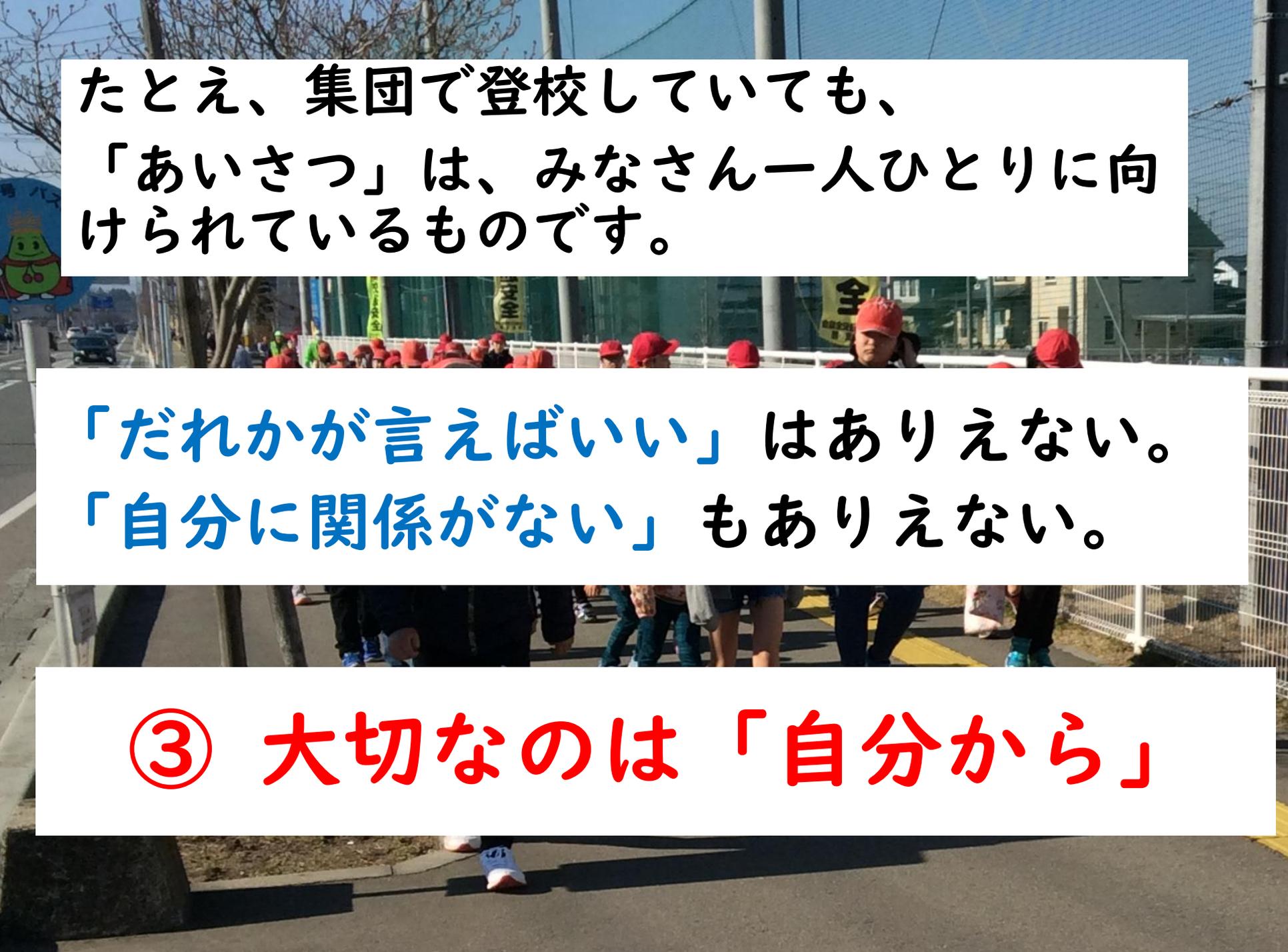
「あいさつ」で大切にしてほしいこと

① 「相手の顔を見て」

② 相手に思いが伝わる

「大きな声で」





たとえば、集団で登校していても、

「あいさつ」は、みなさん一人ひとりに向けられているものです。

「だれかが言えばいい」はありえない。

「自分に関係がない」もありえない。

③ 大切なのは「自分から」

☆ 先生方の演技を見て、
自分の「あいさつ」について考えてみよう。

◇ 劇団「おおもり」の皆さん

- ・ はらだ先生
- ・ さかい先生
- ・ みうら先生
- ・ たきぐち先生
- ・ あだち先生
- ・ くらさか先生
- ・ やまぐち先生
- ・ なかの先生





の「あいさつ」

- 1 下を向いてあいさつを全くしない (×)
- 2 話をしている、あいさつをしない (×)
- 3 目は合わせても、あいさつをしない (×)

これは、とにかく

残念..

残念 (ざんねん)



◇実は、これも **ちよん！ダメ！**

4 あいさつの声が小さい



*あいさつをしても、そのあいさつの声
が、相手の方に聞こえていなければ、その
思いは伝わりません。

つまり **「残念」**

特に、今は「マスク」をしていて、
聞こえづらく、口の形も見えません。



そんな今だからこそ、
大切にしてほしい
「あいさつ」のルール

- ① 「相手の顔を見て」
- ② 相手に思いが伝わる
「大きな声」で！
- ③ 「自分から」



(相手を見て、大きな声で、自分から)
の「あいさつ」は、

とっても「すてき」です。



「あいさつ」はこんな場面でも・・・。

① 学校にお客さまがきたとき
「こんにちは」

② 学校から家に帰るとき
「さようなら」



あいさつは、
人と人との「心をつなぐ」大切な方法



あいさつには、
「いつもありがとうございます」
のような、「感謝の思い」もふくまれて
ています。

(大森小学校の子どもは)



- 「あいさつ」を、自分から大きな声でできる人になりましょう。
- 「あいさつ」を通して、感謝の思いを伝えることのできる人になりましょう。

そして、みんなで 大森小学校にりっぱな
「あいさつの木」をさかせましょう。

